

## 教員養成に対する理念・構想

本学は、地域の期待と要請に応えるための高等教育機関として、高度な教育・研究を行い、その成果を地域に還元することで地域社会に教育的に貢献することを基本理念としている。このため、「自立と共生」を教育理念として、自ら学び考え、自分に納得のいく答えを得る能力を培うとともに、それぞれ自立した社会人として共に支え合って社会の課題を解決して、新しい社会を創造しようとする人材の育成を目指している。そして、幅広い教養と高いコミュニケーション能力を身につけた専門性豊かな地域のリーダーを養成することによって、地域社会の発展に着実に寄与している。

この基本理念や教育理念を具体的に実現するために、本学では教職課程を設置し、地域における学校教育の担い手として活躍できる資質能力の高い教員を養成し、地域の教育や文化の充実・発展に努めてきた。

本学では、教職が幼児・児童・生徒の心身の発達にかかわり、それぞれの可能性を最大限に伸ばして人格形成に大きな影響を与える専門的で創造的な職業であるにとらえ、学校教育の成否は、その直接の担い手である教員の資質能力によって左右されるものであるという認識の下に、次のような資質能力を備えた教員の養成を行っている。

- (1) 教職に対する強い情熱や使命感、誇りをもって仕事に取り組むことができる教師。
- (2) 幼児・児童・生徒の成長・発達についての理解を深めた教師。
- (3) 幼児・児童・生徒に対する教育的愛情や責任感をもつことができる教師。
- (4) 幼児・児童・生徒に対する実践的指導力、学級づくりの力、魅力ある授業づくりの力、教材解釈の力などの教育の専門家としての確かな力量を身につけた教師。
- (5) カウンセリング・マインドを基盤とした生徒指導に関する専門的な知識や技能を身につけた教師。
- (6) 豊かな人間性や社会性、常識と教養、礼儀作法などの人格的資質に優れた教師。
- (7) 自己表現力、コミュニケーション能力、メディア・リテラシー、課題解決能力などの社会の変化に適切に対応できる知識・能力を身につけた教師。

また、本学の教育理念である「自立と共生」を踏まえて、自主性、自律性、協調性、創造性や他人を思いやる心などをはぐくむことによって、国民や社会から信頼され、尊敬される教員を育成することを目指している。

#### <人間学部 人間文化学科>

文化の蓄積を学びつつ、心の働きやコミュニケーションのかたちを探って、自分の力で考えるために、言語の適正な運用方法を身につけ、情報を活用して問題の解決を図る能力を備えた応用力豊かな人材を育成する。

#### <人間学部 子ども発達学科>

教職に対する強い情熱や使命感、子どもの心身の発達についての確かな理解、教科等についての専門的な知識・技能、高いコミュニケーション能力や幅広い教養をもった人間性豊かな教員養成を行うという理念を大切に、社会の変化に対応して学び続けることができる意欲的で実践的な指導力のある教員を育てていく。併せて、本学科設置の目標や理念、特色を生かして、多様な価値観を尊重して国際的に活躍することができる資質・能力、実習体験に裏づけられた論理的な思考力や課題解決能力、豊かな感性や創造力、確かな発達理論に基づいた幼児・児童・生徒観や教育観を備えた教員の養成を行っていく。

#### <経済経営学部 経済経営学科>

数学、情報処理、統計、倫理、政治、法といった経済社会において基礎的な項目となる内容を全学共通科目で扱いつつ、さらにその上に簿記や会計処理、経済・経営システムの高度化、複雑化、グローバル化や変化のスピードにも対応できる専門知識を学ぶことにより、まさに「現代社会に生きる人間としての在り方」を教授できる教育者を育成することを目標とする。

#### <大学院 子ども教育学研究科>

現代の子どもを取り巻く社会の状況を見たとき、具体的に「学ぶ、遊ぶ、参加」という子どもの行為に子どもの論理を見取り、家族、企業、国家、社会との関わりにおいて捉え、子どもの学びのプログラムを構築し実践し、その自己の保育・教育実践を振り返りつつ自らの実践理論を再構築する資質力量が、これからの保育・教育に携わる者には重要であると考えます。本専攻では、上記の資質力量をもった人材を育成するために、子どもに関わる学際的な追究を通して、子どもとは何かを探り、子どもに関わる様々な実践理論を構築するための学問を「子ども学」とする。「子どもは未来」を信念に、「子ども学」による知見が生かされる場である幼稚園や保育所や小学校、あるいは特別支援学校や子育て支援センター、その他の子どもに関わる場に活躍できる人材の育成を目指す。